

令和元年度行政評価 事務事業評価シート(平成30年度実績)

事務事業コード	030301110	予算コード	01082360	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B	
事務事業名	未熟児養育医療給付事業			正規職員数	0.1	国庫支出金	1,770	有効性	A	未熟児養育医療は身体の発育が未熟なまま生まれ、入院を必要とする乳児の医療費を助成し、保護者の負担軽減につながることから、引き続き支援が必要である。
担当課	子育て支援課			嘱託職員数	0	府支出金	885	効率性	B	
根拠法令等	法定受託以外の法令			臨時職員数	0	市債	0	妥当性	B	
	■法律・政令・省令 ■条例・規則 ■要綱・要領			歳出(千円)	882	その他	673	受益者負担	B	
	母子保健法 泉佐野市養育医療の給付に係る費用の徴収に関する規則 泉佐野市未熟児養育医療給付事業実施要綱			人件費総額	882	一般財源	1,773			
						減価償却費	0			
						事業費	4,219			
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	5,101	緊急性			C	事務事業実施内容
実施手法	市直営			市民1人当たりコスト(円)	51					医療費の一部を助成することにより、保護者の負担を軽減して、最良の医療環境の下で未熟児の健全な発育を促すことができた。
対象	特定の市民			活動指標	H30実績	公的関与			A	
	対象数	14名		申請件数	14.0					
	出生時体重が2,000g以下または身体の発育が未熟のまま生まれ、入院治療を必要とする乳児					実施主体・委託化			B	
事業の内容	全国の指定養育医療機関において、出生時体重が2,000g以下または身体の発育が未熟のまま生まれ、入院治療を必要とする乳児に対し、その治療に必要な医療費を助成する制度である。					他の事務事業との関連			D	
				成果指標	H30実績	透明性			C	
				給付件数	38.0	財政健全化計画				該当なし
						財政健全化の取組				該当なし
						改革改善プラン達成度				該当なし
事業の目的	出生体重が2,000g以下または発育が未熟のまま生まれ、入院治療を必要とする乳児に対し、健康に成長することを期して、医療費を助成するものである。			コスト指標	H30実績					
				給付1件あたりの事業費	134,237.0					